

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ B 群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 土木工学科	
比較文化概論 A (Comparative Culture A)	担当教員	坂元 真理子 (Sakamoto, Mariko)	
	教員室	図書棟 2 階 (TEL : 42-9067)	
	E-Mail	sakamoto@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 学修単位 [講義 I] / 1 単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100 分) + 自学自習 (80 分)] × 15 回		
[本科目の目標] グローバルな視点に立ち、また相手の立場に立つてものを考えることができる技術者を目指すために、自文化と異文化について理解し、異文化を受け入れるために必要な知識と価値観を養う。			
[本科目の位置付け] 比較文化概論 B と並行で開設される。			
[学習上の留意点] 毎回、小レポートを提出すること。国内外の文化や習慣、歴史に興味関心を持って受講することが好ましい。なお、本科目は学修単位 [講義 I] 科目であるため、指示内容について 80 分程度の自学自習 (予習・復習) が必要である。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 文化とは	3	<input type="checkbox"/> 文化の定義について理解することができる。	次回の学習内容に備え、異文化及び自文化についての既習範囲の学習内容を自分なりの視点で整理する。
2. 異文化とは	3	<input type="checkbox"/> 異文化の定義と異文化体験の背景について理解することができる。 <input type="checkbox"/> 異文化と接触する事にまつわる事柄と、その対応パターンについて理解することができる。	
3. 国際的異文化との接触	3	<input type="checkbox"/> 国際的な異文化体験の様々な背景について理解することができる。 <input type="checkbox"/> また、国際的異文化接触に際し、その変容、葛藤等について理解することができる。	
4. 国内的異文化との接触	3	<input type="checkbox"/> 国内での異文化体験の様々な背景について理解することができる。 <input type="checkbox"/> また、国内での異文化接触に際し、その変容、葛藤等について理解することができる。	
5. 多文化を生きる	4	<input type="checkbox"/> 多文化社会という概念について理解することができる。 <input type="checkbox"/> 異文化理解について、多文化社会の視点から考えることができる。	
6. 「自由選択型社会」を生きる	4	<input type="checkbox"/> 自由選択型社会という概念について理解することができる。 <input type="checkbox"/> また、異文化理解について、自由選択型社会の視点から考えることができる。	
7. ネット社会を生きる	4	<input type="checkbox"/> ネット上における社会について理解し、考えをまとめることができる。	
8. 異文化を生きる	4	<input type="checkbox"/> 社会の中の異文化と向き合う際の視点について考えをまとめることができる。	
--- 前期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	2	授業項目 1-7 について達成度を確認する。 試験において間違った部分を理解できる。	
[教科書] なし			
[参考書・補助教材] なし			
[成績評価の基準] 定期試験成績 (50%) + レポート (50%) - 授業態度 (上限 20%)			
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 4b			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 1-1, 4-3			
[JABEE との関連] (a), (f)			

Memo